

2015年度

立命館大阪プロムナードセミナー

大阪・京都文化講座(後期)

京都・大阪

「悪所」の研究

―遊廓と芝居町の他所性・両義性をめぐって―

江戸期以降、上方の二大都市である京都・大阪(坂)には、多くの遊廓や芝居町が栄えました。

それらは傾いた「好まれない空間」

あるいは「悪所」と眼差される一方で、

特異な文化様式を分泌し、二都それぞれの文化を

豊饒化する祝祭的空間としても

受容されてきたのです。

時を経て、今や「悪所」は「観光(者)の眼差し」の対象、

そして懐古的な気分になることのできる場ともなっています。

本講座では、「遠い風景」となった「悪所」について、

心象地理・都市論・小説文芸・肉筆画芸能史など、

さまざまな視点からその他所性・両義性について

探究してみたいと思います。

第1回 10月5日(月)

国際日本文化研究センター 特任助教 石上 阿希

浮世絵に描かれた京大坂の悪所

第2回 10月19日(月)

大阪大学大学院文学研究科 准教授 中尾 薫

遊女の芸能史 ～月澄み渡る河水に遊女の謡ふ船遊び～

第3回 10月26日(月)

立命館大学文学部 准教授 加藤 政洋

明治大阪のスラムと盛り場 ～悪所のヘテロトポロジー～

第4回 11月2日(月)

大阪大学大学院文学研究科 教授 飯倉 洋一

大坂の遊里案内『みをつくし』を読む

第5回 11月9日(月)

立命館大学文学部 教授 中川 成美

京都花街の近代文化誌

第6回 11月16日(月)

大阪大学大学院文学研究科 准教授 斎藤 理生

織田作之助の〈遊廓〉

第7回 11月30日(月)

立命館大学文学部 教授 遠藤 英樹

遊歩者の想像力 ～探偵小説とツーリズムが重なり合う「都市の悪所」～

第8回 12月7日(月)

大阪大学総合学術博物館 助教 横田 洋

芝居はいつから悪所ではなくなったのか?

コーディネーター

立命館大学文学部 教授

藤巻 正己

大阪大学大学院文学研究科 教授

和田 章男

会場 立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル5階)

時間 14:00～15:40(90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)

定員 各回130名【先着順】※事前申込 定員になり次第締め切らせていただきます。

立命館大阪梅田キャンパス 公開講座事務局

お申込み方法は裏面をご覧ください。

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階

TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894

メール:osaka-kz@st.ritsumei.ac.jp

※お電話でのお申し込みはできません。

お問合せ
お申込み先

URL <http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/>



アクセス 地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分 JR 大阪駅 徒歩5分
地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分 阪急 梅田駅 徒歩5分
阪神 梅田駅 徒歩3分

大阪・京都文化講座 後期 京都・大阪「悪所」の研究 ―遊廓と芝居町の他所性・両義性をめぐって―

第1回 10月5日(月) 国際日本文化研究センター 特任助教 石上 阿希
浮世絵に描かれた京大坂の悪所

18世紀に上方で制作された肉筆画や絵本などには、色を売る男女の姿が数多く描かれている。また、売色の種類・風俗や遊び方の心得などを記した出版物も残る。それらのテキストとイメージを紹介しながら、悪所に生きる人々がどのように捉えられ、伝えられていたのかを探ってみよう。

第2回 10月19日(月) 大阪大学大学院文学研究科 准教授 中尾 薫
遊女の芸能史～月澄み渡る河水に遊女の謡ふ船遊び～

中世、神崎川のほとりの江口・神崎、蟹島に発達した遊里では、船に乗った遊女が客をとる風景が、大江匡房の『傀儡子記』『遊女記』に記されるほか、和歌や能の題材にもなっていた。芸能者としての遊び女における神聖性、遊里の遊び女における罪業観が、複雑に入り交じった遊女の姿を、芸能史の視点から読み解く。

第3回 10月26日(月) 立命館大学文学部 准教授 加藤 政洋
明治大阪のスラムと盛り場 ～悪所のヘテロポロジー～

大阪ミナミの盛り場『千日前』は、明治の初年まで大規模な墓地であった。墓地から盛り場への変貌をたどる時、現在の「でんでんタウン」である日本橋筋とをまたにかけて活躍した、一人の侠客の姿が浮かんでくる。本講演では、その謎めいた人物に注目し、悪所の異なる貌を浮き彫りにしてみたいと思う。

第4回 11月2日(月) 大阪大学大学院文学研究科 教授 飯倉 洋一
大坂の遊里案内『みをつくし』を読む

新町は、江戸の吉原、京都の島原と並んで、幕府に公認された大坂の遊郭。新町の遊女夕霧と豪商の若旦那伊左衛門の恋を描く歌舞伎『廓文章』(通称吉田屋)は有名である。では新町とはどういうところだったのか?新町の案内書『みをつくし』を読んで、江戸時代の大坂の遊郭にタイムスリップする。

第5回 11月9日(月) 立命館大学文学部 教授 中川 成美
京都花街の近代文化誌

京都には上七軒、先斗町、祇園甲部・乙部、宮川町、嶋原の六花街が室町期から江戸初期にかけて成立し、今もその繁栄の跡を留めていることは世界に知られている。本講演では特に近代以降の花街の変遷をたどりながら、それを描いた文学や映画を紹介しながら悪所のもつ魅惑と耽溺、そして女性の問題を考えてみたい。

第6回 11月16日(月) 大阪大学大学院文学研究科 准教授 齋藤 理生
織田作之助の〈遊廓〉

京阪の地を多く描いた織田作之助の作品には、遊廓とその周辺もしばしば取りあげられている。たとえば『夫婦善哉』の蝶子と柳吉が関東煮屋を開くのは「飛田大門前」であった。織田はそれらの地をどのように描き、用いているのか。作品に即して考えたい。

第7回 11月30日(月) 立命館大学文学部 教授 遠藤 英樹
遊歩者の想像力 ～探偵小説とツーリズムが重なり合う「都市の悪所」～

探偵小説のキャラクターも、ツーリストも、見世物小屋、盛り場といったさまざまな都市の悪所を遊歩する。本講演では、大阪や京都を事例に、こうした近代社会を揺籃した場所を遊歩する者たちの想像力について、乱歩、正史をはじめとする日本の探偵小説とツーリズムを重ね合わせながら探りたい。

第8回 12月7日(月) 大阪大学総合学術博物館 助教 横田 洋
芝居はいつから悪所ではなくなったのか?

遊廓と合わせ、芝居を指して「悪所」と呼ぶ慣習は幕末ごろには存在したとされるが、その慣習は今でも続いているのだろうか。現在の劇場や劇場のある街を「悪所」とは呼ばないのならば、どのような歴史的な文脈の中で、その慣習が変化したのか、考えたい。

お申込み方法

①「申込書」に必要事項を記入の上、FAX・メール・郵送、いずれかの方法で右記申込先までお送り下さい。

※お電話での申込みはできません。

※事情により、やむを得ず、日程・テーマ・講演者などが変更になる場合がございます。

②受講申込受付後、「受付確認書」「郵便払込票」を送付いたしますので、受講料を納付(郵便払込)願います。

※事務局窓口にて現金で納付することはできません。

※払込手数料は申込者のご負担をお願いいたします。

※いったん納付いただいた受講料は返金いたしかねますのでご了承ください。

※申込み後、二週間以上たっても「受付確認書」が届かない場合は、下記までお問合せ下さい。

③受講日当日は、会場受付にて「受講カード」をご提示ください。

※2015年4月以降初めて講座を受講される方へは、受講料の納入確認後、受講カードを送付いたします。

※既に受講カードをお持ちの方は、引き続きご利用頂けます。カードの再発行は行いません。

会 場 立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)

時 間 14:00～15:40 (90分の講演と10分の質疑応答)

受講料 1回 1,500円 (7回以上一括申込の場合、10,000円)

定 員 各回130名【先着順】※事前申込

定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

お問合せ・お申込み先 立命館大阪梅田キャンパス 公開講座事務局

(開室時間:月～金 9:00～17:30 / 休祝日除く) ※土日祝閉室

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階

TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894

メール:osaka-kz@st.ritsumei.ac.jp (公開講座専用)

URL http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/

申 込 書

▼希望する受講日該当欄に○印をつけてください。

全8回を受講する	
第1回 10月 5日(月) 浮世絵に描かれた京大坂の悪所	
第2回 10月19日(月) 遊女の芸能史	
第3回 10月26日(月) 明治大阪のスラムと盛り場	
第4回 11月 2日(月) 大坂の遊里案内『みをつくし』を読む	

第5回 11月 9日(月) 京都花街の近代文化誌	
第6回 11月16日(月) 織田作之助の〈遊廓〉	
第7回 11月30日(月) 遊歩者の想像力	
第8回 12月 7日(月) 芝居はいつから悪所ではなくなったのか?	

FAX:06-6360-4894

FAX番号および送信面をもう一度ご確認ください。

フリガナ ご氏名		受講者ID(お持ちの方)			
		0 0			
ご住所 〒		性別 男 ・ 女	年齢 歳	生年月日(西暦) 年 月 日	
TEL(自宅) FAX		この講座をお知りになったきっかけ ☐ 立命館大阪梅田キャンパスからの郵送物 ☐ 大阪大学21世紀懐徳堂HP ☐ 立命館大学HP ☐ 懐徳堂記念会からの郵送物 ☐ 大阪府・市の公共施設 ☐ 立命館Club(メルマガ) ☐ 校友会報「りつめい」 ☐ 知人からの紹介 ☐ 新聞広告(新聞名:) ☐ その他()			
TEL(携帯)					
E-mail					